

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1 明るく元気な地域づくり

1ー① 隣近所との交流

1ー② 人が集い交流しあう拠点づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	ふれあい いきいきサロン 助成事業	社協	身近な地域で仲間づくりや生きがいづくりの拠点の場としてのサロン活動を支援する。	・サロンの運営支援(報告書及び次年度申請書作成の相談受付、必要に応じた助言、情報提供等) ・地域の茶の間・いきいきサロン助成事業個別相談会 日時 令和7年3月21日(金)、24(月)、25日(火) ・サロン開催状況 73か所(うち 助成サロン57か所)	・継続運営の難しさを抱える団体へ引き続き支援する。 ・サロン運営団体を対象とした研修会を実施する。
2	ふれあい いきいきサロン 立ち上げ支援	社協	高齢者等の閉じこもり防止や仲間づくり促進を目的として、居場所の意義を発信し、交流の場を求める地域へ、立ち上げまでの支援を行う。	・新規立上げ:3か所	・サロン立ち上げ支援を継続する。
3	げんきに育つ親 も子も ～妊娠期から支 え、見守る～ 令和7年 主要事業	児童 福祉 担当	妊娠期からの母子を支援する体制をつくり、各種子育て支援事業を実施することで、親も親として育つことを支え、子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートする。	＜子育てサロン＞ ・区内中学校区4カ所 回数:79回、参加者数:1,044人 ＜産前産後のリフレッシュ事業＞ ・パパママ銭湯 回数:24回、参加者:241人 ・デイケアルーム 回数:24回、参加者382人 ・子育てサポーター訪問事業 養成講座5回実施、受講者延95人 訪問人数:277人 ・子育て支援者連絡会 子育てサポーター訪問事業養成講座のうち2回	・区内中学校区ごとに行っている子育てサロンは、パパママプチ講座と合わせて各会場で今後も実施する。 ・産前産後の母親向けのリフレッシュ事業はキャンセル待ちが出るほど好評だったので引き続き実施する。 ・子育てサポーター訪問事業は、面会した保護者の表情が良い。今後も引き続き訪問を続ける。 ・子育て支援に関わる事業者、団体、医療機関等が情報共有し地域の子育て支援について理解を深める機会を設ける。
4	アキハ移動式こ どもの居場所づ くり事業【新規】 令和7年 主要事業	児童 福祉 担当	コミュニティ協議会、小・中学校等と連携しながら、既存施設を活用し、安心・安全に過ごせる新たな居場所づくりを行い、子どもたちに様々な遊びや学びを提供します。		金津地区を実施エリアとして、月1回、金津地区コミュニティセンター等を活用し、こどもの居場所づくりを施行実施する。

1ー③ 人を支える組織の支援

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	地域ふれあい 事業	社協	住民主体の地域福祉活動を実施した自治会・町内会に助成し、地域におけるふれあい活動を推進する。	・地域ふれあい事業 申請件数 67件(前年比 +12件)	・事業の周知をし、地域におけるつながりや助け合い活動を推進する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1-④ 人材の育成とコーディネート機能の充実

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	地区社協育成・推進支援事業	社協	地区社会福祉協議会の活動が円滑にできるよう支援・助成する。	- 地区社協活動交付金(11地区社協) 交付金額:各地区前年度社協会員会費納入額の25%+全地区前年度社協会費納入額総額×5%÷11地区 - 地域福祉活動計画推進事業 申請件数 17件 - 地区社協を主体として、地区担当が関わりながら取り組みを行った。	- 年2回地域福祉懇談会(今年度の取り組みの確認、年度末にふり返り)を開催する。 - 地区懇談会等をもとに出された地域課題に地区ごとに取り組みを進める。 - 地区社協が様々な地域課題等へ取り組めるよう地区社協活動交付金を交付する。 - 支え合いのしくみづくりや社会福祉法人の公益的な取り組み等と連携した地域課題への取り組みを行う。
2	地区社協連絡会議	社協	各地区の活動等情報交換や交流を通して、地域における支え合い、助け合いを推進するため、「区社協福祉推進会議」を開催する。 令和7年度は、地域で見守り支え合う関係を災害時の支援にも生かせるためにというテーマを予定。	令和6年度は「見守りの重要性」をテーマとして開催 (1)日時 令和6年8月1日(木) 10:00～12:00 会場 新津健康センター はつらつホール (2)日時 令和6年8月2日(金) 14:00～16:00 会場 新津地域交流センター 3階 多目的ホール (3)日時 令和6年8月2日(金) 18:30～20:30 会場 新津地域交流センター 3階 多目的ホール ・内容 基調説明「地域課題の現状と見守りについて」 講師:新潟医療福祉大学 心理・福祉学部社会福祉学科 教授 青木 茂 氏 ・秋葉区社協の活動について 説明:秋葉区社会福祉協議会職員 ・見守り活動の事例発表 ・意見交換 ・参加者 コミ協・地区社協、自治会長・町内会長、民生委員児童委員、社協役員、職員 (1) 38名 (2) 46名 (3) 59名	令和7年度は、地域で見守り支え合う関係を災害時の支援にも生かせるためにというテーマを予定。 旧新津地区 8月1日(金) 旧小須戸地区 8月5日(火)
3	地域福祉推進フォーラム	社協	住民一人ひとりが、地域の課題に気づき、互いに共有し、解決しようとする力を身につけることができるよう、地域の繋がりを構築し、支え合う体制を実現するために先進的な事例を学び、効果的な地域活動が連携できるようフォーラムを開催する。	・日時 令和6年12月15日(日)13:30～15:45 ・会場 秋葉区文化会館 ・内容 1.社会福祉功労者表彰 2.シンポジウム 『あきはくの支え合いの実践～地域共生社会を目指して～』 コーディネーター: 新潟医療福祉大学心理・福祉学部社会福祉学科 教授 青木 茂 氏 シンポジスト: 新潟県信用組合 新津支店長 森田 雅美 氏 荻川支店長 岩田 武 氏 舟戸1.2自治会 会長 石井 勝 氏 書記 新井田 さや香 氏 秋葉区社会福祉協議会 支え合いのしくみづくり推進員 小林 湧 ・参加者 266名	- 令和7年10月17日(金)13:30～秋葉区文化会館で開催予定。 「地域みんなで生活を支え合うしくみをつくろう(仮)」をテーマに、生活支援について考えます。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1ー④ 人材の育成とコーディネイト機能の充実(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
4	ボランティア講座	社協	・個別の課題や地域課題に寄り添った講座を開催することで、誰もが安心して暮らし支え合う地域づくりへと繋げる。 ・親子の繋がりを深め、ボランティアへの興味を持ってもらうために開催する。 ・ボランティアに関心を持ってもらうためのきっかけとなる講座を開催する。	・ボランティア講座 親子「サイエンス☆ラボ」 46名(22組) ・ボランティア講座「障がい児・者のお金に関すること」 障がい児・者の将来のための今からできる準備講座 26名 個別相談で親亡き後の心配が寄せられていることから、事前にできる準備講座をボランティア・市民活動センターとコミュニティソーシャルワーカーで連携し開催 ・ボランティア講座「ボランティアきっかけ作り講座」 20名 ボランティアに興味がある方へ活動の紹介をすることでボランティア活動のきっかけを作る。また、高齢化等による会員不足でニーズに対応できないボランティア団体の会員増加の支援と会の継続を促進 ・ボランティア講座「受け入れ施設担当者研修会」 15名 コロナ禍で受け入れの途絶えた現状から受け入れの基本について学び、新しい取り組みなど情報共有し施設側、利用者、ボランティアに良い環境作りを考えるために開催	令和7年度 ・サイエンス・ラボ(親子講座) ・ボランティアきっかけ作り講座 ・施設ボランティア受け入れ担当者研修 ・施設ボランティア受け入れ担当者間の情報共有を含めたボランティア受入れのための研修を開催する。 ・企業等へも随時ボランティア講座や交流を開催し、繋がりを深める。
5	ボランティア交流会	社協	交流会を開催し、ボランティア同士の情報共有の場を設ける。また各活動の理解を深め、ネットワークの強化を図る。	・日 時 3月3日(月)11時～15時 ・会 場 新津地域交流センター3階 ・参加対象 登録ボランティア(個人・団体)、地域の茶の間サロン関係者にいがたし元気力アップサポーター、施設、企業、ボランティアに興味のある方 ・参加者数 150名 ・内 容 1.ボランティア体験・活動紹介 おもちゃ病院、点字、手話、要約筆記、かみしばい、フラダンス あきは日本語教室、こども食堂かけはし、ディンプルアイランド、SDGsゲーム新潟県版体験 2.ボランティアについて学ぶ(活動紹介、事例発表) ボランティアについて、活動紹介、事例紹介(SDGsボードゲーム、マジックボランティア) 3.ボランティア交流・情報共有 4.その他 福祉施設販売(ぶどう工房、コトイロ、まくあけびー)	・ボランティア活動に役立つ情報や事例を聞いたり、体験することでボランティア活動の参考にしてもらう。 ・お互いのボランティア活動の理解や情報交換の場として、開催の方法を工夫しながら、継続して実施する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

1ー④ 人材の育成とコーディネート機能の充実(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
6	地域出前講座	社協	学校、地域、各種団体に対し、福祉に関する理解と、啓発を目的に講座を開催する。	・福祉教育(総合的な学習の時間)の支援・協力:小学校9校 中学校3校 - 福祉体験(高齢者・視覚障がい・車いす体験・手話・点字・音声訳) - 福祉講話(福祉・障がい・認サポ・高齢者・サロン・地域の取り組み) - 交流 (盲導犬ユーザー・地域の茶の間) ・地域での防災講座 4件 ・ボランティア団体向け防災講座 1件 ・防災講座 放課後児童クラブこども向け 5件 ・手話講座 放課後児童クラブ 1件 ・認知症サポーター養成講座 新潟県信用組合、地域等 4件 ・その他ボランティア講座(民生委員・ロータリークラブ) 3件 ・支え合いのしくみづくり推進員による地域(サロン等)での出前講座 - 秋葉区全域 2カ所 (支え合いのしくみづくりについて、福祉活動について) - 新津第一・第二圏域15ヶ所 (地域の見守りについて、支え合いの必要性、居場所の意義、緊急情報キットについて、歳末見守りについて、) - 新津第五圏域 13カ所 (地域の見守りについて、ごみ出しの取り組みについて、緊急情報キットについて、歳末見守りについて) - 小合・金津・小須戸圏域 7カ所 (支え合いのしくみづくりについて、サロンの役割・効果、福祉活動について、認知症について、歳末見守りについて)	・地域に関心を持ち、支え合い・助け合いの気持ちを持てるよう、関係機関・団体や地域より協力をいただきながら講座等の開催を行う。 ・学校、企業、地域等多くの市民に福祉についての啓発ができるよう、様々な団体や人材とつながり、新たなプログラム作りや場作りをしながら取り組みを継続する。 ・地域での取り組みをこども達に知ってもらうために、サロン・地域の茶の間等との交流を行う。 ・防災に関する出前講座を開催するとともに、災害ボランティアセンターの役割の周知を図る。
7	元気力アップサポーター事業	社協	65歳以上の高齢者が福祉施設(高齢・障がい・保育園・図書館・公民館など)でのサポート活動を行うことで自身の介護予防とともに、生きがいを見出し、元気になることでいきいきとした地域づくりを目指す。	・月1回登録説明会開催 説明会参加者延べ 12名 ・出張説明会開催 6回 参加者 63名 登録者 49名 - 秋葉区サポーター数 277名 - R7年度登録者数 61名 - 受入協力機関 80施設 - 施設でのサポーター活動が可能になってきたため、話し相手や芸能関係のサポーターと施設の調整を随時行った。 - また、随時出張説明会を開催しサポーターの増加を図った。	・偶数月に説明会の開催 ・そのほか、出前講座も随時開催 ・サポーター受け入れが再開している高齢者施設もあるため、サポーターの活動先を調整する。 ・元気力アップ通信で活動先の紹介を行う。 ・広報紙等による元気力アップサポーター制度の事業PRを行う。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2 安全で安心な地域づくり

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	高齢者等 あんしん見守り ネットワーク 事業	高齢 当介 護担	高齢者等、地域の中で支援が必要と思われる方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域住民や協力事業者による見守り活動の中で異変等を発見したときに、すみやかに対応できる体制を強化する。	・見守り意識の啓発 ・協力事業所としての登録の働きかけ	・見守り体制の構築・維持には地域が主体となって行っていく必要があることから、支えあいのしくみづくりを進めていくなかで、コミ協など地域へ働きかけを行っていく。
2	子育て 支援施設	福祉 担児 童当	地域の子育て支援の情報収集・提供に努め、関係機関と連携しながら子育て支援に関する支援・相談を行う。(秋葉区 子育て支援施設 4か所)	・各子育て支援センターでは、遊びの提供だけでなく、各種セミナーの開催、一時預かりの実施、子育てに関する相談への対応などさまざまな角度からの子育て支援を行っている。	・今後もより多くの子育て世代から利用していただけるよう、各子育て支援施設と連携し市民のニーズに合わせた活動を継続していく。
3	民生・児童委員 への支援	地域 福祉 協担 当	地域住民の相談や見守り活動などを実施している民生委員・児童委員を支援することにより、一層安心して暮らせる地域づくりを目指す。	・秋葉区民生委員児童委員連絡協議会活動への協力 ・区だよりを活用した民生委員児童委員活動の広報 ・一斉改選に向けた自治会町内会への協力依頼 ・会長会・地区定例会出席 ・個々のケース支援	・令和7年12月の一斉改選を支援し、改選後は新任民生児童委員への研修を行うなど、引き続き民生委員児童委員の活動を支援する。
4	妊娠・子育て ほっとステーション事業 令和7年 主要事業	健康 福祉 増担 進係 当	妊娠期から子育て期(18歳未満)までの切れ目のない支援を行い、子育てについてひとりで悩まないようにサポートし、子育てしやすい環境を作る。	児童虐待予防ネットワーク事業 ・実務者会議の開催(12回) ・個別ケース検討会議の開催(25回) ・妊娠・子育てほっとステーション体制整備の会議、研修を実施(3回) 相談・受付件数 ・窓口 3,734件 ・電話 1,574件 ・メール 5件 相談内容 ・出産準備、産後の過ごし方、こどもの体重増加や発達、入園方法など	・引き続き切れ目ない支援のために、関係機関と顔の見える関係を築き、連携して対応する。
5	児童期・思春期の こどもと保護 者の支援 令和7年 主要事業	こども 当支 援担	不登校などのこどもの課題に関する講演会や相談会を開催し、関係機関とも連携しながら、課題の解決を支援します。	・不登校などのこどもの課題に関する講演会・ワークショップ 開催回数:2回 参加者数:38名 ・不登校などのこどもの悩みを抱える保護者の相談会 開催回数:3回 参加者数:30名 ・こども向け進路相談会 開催回数:3回 参加者数:17名	・講演会及びワークショップは、参加者アンケートの満足度も高く(90%以上)、内容についても好評であるため、引き続き開催し、参加者の抱える課題に応えられるよう努める。 ・相談会については、各関係機関と連携しながら相談者の課題解決となるよう、引き続き実施する。
6	障がい者用 住宅の整備	福祉 担障 社係 当	障がい者の住みよい環境づくりに資するため、障がい者用市営住宅の確保や住宅リフォーム資金を助成する。	・住宅リフォーム資金助成 2件 ・障がい者用市営住宅 新規申請 0件	・引き続き制度の周知に努め、障がい者の住みよい環境づくりに努める。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり (つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
7	友愛訪問事業	社協	75歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯等を対象に、民生委員児童委員や訪問員が定期的に訪問し、見守り・声かけをすることで安否の確認を行い、孤独感の解消とニーズ把握に努める。	・訪問世帯数 894世帯 ・延べ訪問回数 9,877回 ・訪問員数 142名	・見守り活動のツールとして各地区で実施。 ・民生委員児童委員と連携し、見守りを通して必要な支援につながるよう継続して実施する。
8	緊急キット配布事業	社協	75歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯を対象に、緊急時に備えて連絡先等を記載した情報キットを配布し、緊急時に備えると共に、地域での見守りの仕組みづくりを行う。	・緊急情報キット一式配布数 - 新津中央コミュニティ協議会 60本(内無料配布数 41本) - 新津西部コミュニティ協議会 44本(内無料配布数 44本) - 荻川コミュニティ振興協議会 64本(内無料配布数 34本) - 満日コミュニティ協議会 5本(内無料配布数 5本) - 新津東部コミュニティ協議会 101本(内無料配布数 1本) - 阿賀浦コミュニティ協議会 130本(内無料配布数 40本) - 金津コミュニティ新興協議会 12本(内無料配布数 7本) - 秋葉区健康福祉課 1本(内無料配布数 1本) - 新津第一中学校 1本(内無料配布数 1本) ・情報用紙更新 - 新津中央コミュニティ協議会 25枚 - 新津西部コミュニティ協議会 39枚 - 荻川コミュニティ振興協議会 100枚 - 阿賀浦コミュニティ協議会 89枚 - 満日コミュニティ協議会 5枚 - 金津コミュニティ振興協議会 6枚	・緊急情報キットの配布を通して住民主体の訪問活動などを展開する。 ・配布後の活用について、見守り活動の一助として地域コミュニティ協議会や地区社会福祉協議会が実施できるよう、継続的に支援する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2ー① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
9	高齢者虐待に関する事業	介護 高 担 齢 当	地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員などと連携を図り、虐待防止に努める。	・個々の虐待ケースに包括やケアマネなど関係者と連携して対応 ・過年度からの継続ケースも含め定期的にモニタリングなど実施 個別事例対応受付件数 38件	・虐待ケースは原因、状況がさまざまで、対応も個々に異なる。また、数年に渡り継続対応が求められるケースも増えつつある。引き続き、包括など関係者との更なる情報共有、連携を深め、緊急性を的確にとらえ迅速に対応していく。
10	地域包括ケアシステムの構築	地域福祉・ 高 齢 介 護 担 当	地域における支えあいのしくみづくり、支え合い活動の推進を図るため、支えあいのしくみづくり会議(協議体)を設置し、コーディネイト役である支えあいのしくみづくり推進員(生活支援コーディネーター)を配置する。 地域住民同士の支えあいのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。	・秋葉区支えあいのしくみづくり会議(第1層協議体) ・新津第1・第2圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ・新津第5圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ・小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議(第2層協議体) ※1 会議は6月、9月、2月、3月に開催 ※2 第1層、2層合同研修会 1月開催 社会福祉法人等ネットワーク研修会 ※3 第1層および第2層支えあいのしくみづくり会議の運営事務局を、秋葉区社会福祉協議会に委託 ・秋葉区地域包括ケア推進モデルハウス「まちの茶の間 だんだん・嶋岡」 開催日:毎週火・土曜日 午前9時30分～午後12時00分(正午) 利用料:300円 内容:ティールーム、保健師・作業療法士による相談(月1回)等 利用者数:延べ1,761人(※1回あたり 18.9人) 7・8月こどもの居場所実施(計4回)	・生活支援および介護予防サービスの体制整備に向け、地域ニーズの把握やネットワーク構築、定期的な情報共有など行い、地域の支え合い活動の一層の推進を図っていく。
11	地域包括ケア推進事業	社 協	第1層(秋葉区全域)支えあいのしくみづくり会議(協議体)運営の事務局として、支えあいのしくみづくり推進員を中心に、協議体構成員や各種団体との連携を図るとともに、区全体の地域課題について検討協議し、地域福祉活動を支援する取り組みを進める。	【第1層事務局】 ・令和6年度第1回秋葉区支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年6月26日(水) 10:00～11:30 内容:2層支えあいのしくみづくり会議報告 認知症について、社会福祉法人等の公益活動について 身寄りなしの課題について ・令和6年度第2回秋葉区支えあいのしくみづくり会議 日時:令和7年3月12日(水)10:00～11:30 内容:1層、各圏域の活動報告 ・令和6年度のふり振り返り・令和7年度の取り組みについて ・令和6年度区社協福祉推進会議 日時:令和6年8月1日(木)10:00～12:00 令和6年8月2日(金)14:00～16:00、 18:30～20:30 テーマ:見守りの重要性 ・令和6年度秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会 日時:令和7年1月24日(金)14:00～15:30 テーマ:社会福祉法人による地域貢献活動における地域とのつながり ・各地区地域福祉懇談会(別紙のとおり)	【第1層】 ・地域福祉懇談会を11地区で2回ずつ開催し、取り組みの確認や評価、次年度へ向けての取り組みを確認予定。 ・認知症に対する正しい理解を推進するため、チラシを活用し、地域への周知に努め関係機関との連携を進めていく。 ・社会福祉法人の公益的な取り組みに関するパンフレットを活用し、地域と社会福祉法人が地域課題に取り組めるようコーディネイトを行う。 ・地区別計画との連動や、社会福祉法人、企業等と地域が連携した取り組みを進めていく。 ・地域課題にあった研修会や情報交換会を開催するなど第2層(地域)が取り組みやすい支援を行っていく。 ・モデルハウスだんだん嶋岡の課題等に対する取り組みを進めるとともに、その活動内容を区内に発信する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2-① 安心して暮らせる支えあい環境づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
11	地域包括ケア推進事業(つづき)	社協	第2層(日常生活圏域)支えあいのしくみづくり会議(協議体)運営の事務局として、支えあいのしくみづくり推進員を中心に、協議体構成員や各種団体との連携を図るとともに、小地域での見守りや生活支援の取組みなどの地域活動を支援する。	【第2層 新津第一・第二圏域事務局】 - 令和6年度第1回新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年6月6日(木)10:00~11:30 内容:令和5年度のふり返し、令和6年度の取り組みについて - 令和6年度第2回新津第一・第二圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和7年2月6日(木)13:30~15:00 内容:令和6年度のふり返し、令和7年度の取り組みについて 【第2層 新津第五圏域事務局】 - 令和6年度第1回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年6月3日(月)10:00~11:30 内容:令和5年度のふり返し、令和6年度の取り組みについて - 令和6年度第2回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年9月9日(月)10:00~11:30 内容:ゴミ出しの課題について - 令和6年度第3回新津五圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和7年2月3日(月)10:00~11:30 内容:令和6年度のふり返し、令和7年度の取り組みについて 【第2層 小合・金津・小須戸圏域事務局】 - 令和6年度第1回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年6月5日(水)10:00~11:30 内容:令和5年度のふり返し、令和6年度の取り組みについて - 令和6年度第2回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和6年9月11日(水)10:00~11:30 内容:圏域全体での取り組みにおけるサロン交流について 支えあいの周知について - 小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 サロン情報交流会 日時:令和6年10月21日(月)13:30~15:30 内容:各サロンの現状・運営の工夫の発表、情報交換 - 令和6年度第3回小合・金津・小須戸圏域支えあいのしくみづくり会議 日時:令和7年2月21日(金)10:00~11:30 内容:令和6年度のふり返し、令和7年度の取り組みについて	【第2層】 - 支えあいのしくみづくり会議や福祉懇談会を通して、地区ごとに地域課題を把握し、課題解決に向けた取り組みを進める。 - 地区の課題は福祉懇談会を基に地区ごとに取り組みを進めていき、支えあいのしくみづくり会議では圏域共通の課題について検討し、地域福祉計画・地域福祉活動計画と一体となった取り組みを進めていく。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

2ー① 安心して暮らせる支えあいの環境づくり(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
12	ゴミ出し支援事業	社協	既存の制度では対応が難しい複雑・多様化した生活福祉課題に対応するため、ゴミ出し支援を行う。	・実施団体:4自治会・町内会(新町、秋葉2丁目、金津、小口) ・新津清掃社及び地域包括支援センターと、地域の報告会の状況を共有、意見交換会を実施した。(R6.6.11開催) ・R7.2.27に秋葉区全体でのふり返し会を行い、町内会長や民生委員、包括、新津清掃社と日頃気になっている点や課題など出し合い、見守り(安否確認)の在り方などを考える機会となった。	・令和6年度のふり返しでは町内会長、民生委員に利用者の状況を聞くことができ、新津清掃社と情報共有をすることができた。環境と福祉の融合した安心安全な地域づくりを進めるために異業種連携を推進していく。
13	子育て支援事業	社協	こどもの社会的孤立の防止を図ることを目的とし、地域社会の中で子どもたちが気軽に参加できる居場所づくりを目指し、こどもの居場所の運営を行えるよう支援する。	・新規居場所開催団体 0団体 ・助成申請団体 5団体	・児童福祉法に基づき18歳未満のこどもを対象とした、こどもの居場所づくり活動団体へ助成を実施する。 ・こどもの居場所活動団体情報交換会を開催し、各団体の活動の方法や情報の共有を図る。 ・既存の団体への継続支援、新規立ち上げ団体への立ち上げ支援を行う。
14	歳末たすけあい助成事業	社協	地域住民が主体となって行う歳末時期の交流活動や除雪支援活動に対して助成し、住民相互の助け合いの輪を広げ、日常の見守り活動を強化する。	・自治会・町内会が行う交流事業に対し、助成を行った。 →申請件数 20件 ・自治会・町内会が行う除雪事業に対し、助成を行った。 →申請件数8件	・各地域における交流事業と、要援護者宅や児童通学路の除雪を通して、たすけあいや見守り活動を推進していく。
15	入学準備支援事業	社協	ひとり親世帯および低所得者(生活困窮含む)世帯の子どもたちに健全な育ちの機会と十分な教育を保証する一助として小学校及び中学校に入学準備としてランドセル又は体操着の購入助成を行う。	・対象者:ひとり親世帯で市民税非課税世帯 ・助成件数 13件	・秋葉区役所児童福祉係から協力をいただき、対象世帯への事業案内を行う。 ・取り組みを継続する。

2ー② 安全で快適な生活環境づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	災害ボランティアセンター運営事業	社協	災害時における秋葉区災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営の体制整備を行う。	・西区災害ボランティアセンター運営ふりかえり会 日 時:令和6年6月14日(金))15:30～17:30 会 場:西区役所 参加者:にいがた災害ボランティアネットワーク・日本防災士会・赤十字安全奉仕団・白根青年会議所・新潟県社会福祉協議会 他 (18名) ・秋葉区ボランティア連絡協議会会員の集い 日 時:令和6年10月24日(木))10:00～11:30 会 場:新津健康センター 内 容:テーマ「災害時にボランティア団体の私達ができること」 参加者:にいがた災害ボランティアネットワーク・日本防災士会・赤十字安全奉仕団・白根青年会議所・新潟県社会福祉協議会 他 (18名)	・災害時における災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営のため、発災から災害対策本部の設置、BCP(事業継続計画)を含めた災害時対応を役職員が共通認識を持ち、動ける体制を整えます。また、能登半島地震における対応を検証し、必要に応じ各種規程やマニュアル等の整備を行う。 ・今年度は区社協福祉推進会議において昨年度に引き続き、能登半島地震から西区災害ボランティアセンターの活動について学び、普段の地域のつながりが災害時に生きた事例の紹介等を行いながら、自治会、町内会やコミ協との連携をより一層深める。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3 健康で豊かな地域づくり

3-① 地域における健康づくりの推進

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	乳幼児健康診査・育児相談事業	健康増進係	乳幼児の健やかな発達・発育の支援と、疾病予防や早期発見を目的とする。健診や育児相談の機会をとらえて、子育てに必要な情報提供や保育者支援を実施。	<乳幼児健康診査> ・股関節検診 : 10回 受診者372人(受診率93.2%) ・母体保護相談: 10回 受診者372人 ・1歳6か月児健診 : 12回・受診者418人(受診率98.4%) ・3歳児健診 : 12回・受診者519人(受診率97.4%) ・未受診者は全て状況の確認が行われた。 <定例日育児相談> ・定例日育児相談 : 12回・相談者 延べ431人(39人増加)	・各種健診の場面では、保護者の思いを受け止め、児の健全な育ちについて支援していく。乳幼児健診未受診者へは地区担当保健師が状況確認し、育児相談を行うことで全数確認を行っていく。 ・定例日育児相談では、保護者の悩みに寄り添い、適切な支援を行っていく。
2	成人集団検診事業	健康増進係	各種がん検診を実施し、病気の早期発見、健康増進に努める。	・肺がん検診 : 23回+新津成人病検診センター等 受診者3646人 ・胃がん検診 : 11回 受診者453人 ・乳がん検診 : 21回 受診者927人 ・肺がん検診は、定期の集団検診の他に未受診者対象のミニドック型健診を2日間(半日4回)、新津成人病検診センターで定例実施 ・乳がん検診は、協会けんぽとのコラボ検診を1月に2日間(半日4回)実施	・各種会議、健康教育の機会等を利用し受診勧奨を行い、予定された健診を実施していく。
3	歯科保健事業	健康増進係	各種歯科健診を実施し、治療が必要な歯を早期発見し、適切な治療につなげる。 歯科指導の際に食生活やむし歯の予防について助言し、幼児の健全な育成を図る。	・1歳誕生歯科健診:12回 受診者381人(受診率93.4%) 栄養相談: 110人 育児相談: 30人 ・1歳6か月児歯科健診:12回・受診者416人(受診率97.9%) ・3歳6か月児歯科健診:12回・受診者 518人(受診率97.2%) ・2歳児歯科健診(施設健診): 受診者319人(受診率70.0%)	引き続き疾病の早期発見と、歯科衛生士・栄養士・保健師による子育て支援を行っていく。
4	特定保健指導事業	健康増進係	特定健診の結果、メタボリックシンドローム該当者及び予備群と判定された方を対象に、メタボリックシンドロームを改善するため、生活習慣改善の支援を行う。	・特定保健指導の対象者に対し、特定保健指導の案内及び再案内を個別通知。 電話・訪問による利用勧奨を実施。 ・対象者323名(積極的54名、動機付け269名) ・保健指導実施者74名(積極的7名、動機付け67名) ・初回実施率22.9%	・対象者への個別通知による受診勧奨を実施。 ・未来所の場合は再度個別通知により勧奨する。また、電話番号がわかるものには電話での利用勧奨を行う。 ・訪問による利用勧奨も行っていく。
5	健康教育事業	地域保健福祉担当	心身の健康に関する知識を普及啓発することにより行動変容を促し、主体的に健康保持・増進できるよう支援する。	・依頼健康教育 : 成人 16回 延べ223人、 母子 8回 延べ97人	・引き続き、健康教育などの教室をコミ協、サロン、老人クラブ子育て支援センター等に広く周知し、健康づくりに向けた知識の普及を行う。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3ー① 地域における健康づくりの推進(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
6	食育関連事業	健康増進係	幅広い世代に亘って、食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができるよう支援する。	・離乳食講習会 : 18回 133組159人 (講話内に減塩を加えた) ・健康増進普及講習会(テーマは糖尿病予防、フレイル予防の食事と減塩): 4会場8回 延べ181人参加	・引き続き、全世代の共通課題である減塩や全ての生活習慣病予防の食事モデルとなる糖尿病をテーマに実施する。
7	思春期保健事業	健康増進係	思春期の心身の変化を学び、健全な発達・発育ができる機会を提供する。	・中学校における思春期保健講演会の実施 「生と性の講演会」 区内高校・中学校7校8クラスで実施 受講生徒数: 958人	・中高生が性についての正しい知識を持ち、自ら考えて行動していくための普及啓発が必要なことから秋葉区内の全中学校、高校に希望調査を実施し思春期教育の機会を提供する。
8	幸齢ますます元気教室(運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上複合プログラム)	健康増進係	生活機能の低下がある、低栄養状態にある又はその恐れがあるなど要介護状態に陥りやすい高齢者や要支援認定者を対象に、集団で運動、栄養、口腔機能向上指導などを行い、生活機能の維持改善を図り要介護状態になることを予防する。	・幸齢ますます元気教室 3会場で実施 参加者: 実人数105人 延べ1,170人	・民生委員地区定例会や高齢者が集まる他事業等で教室の周知を行っていく。 ・修了後、多くの方が介護予防できる活動場所につながるよう支援していく。
9	食生活改善推進委員会育成支援運動普及推進委員会育成支援	健康増進係	食生活改善推進委員及び運動普及推進委員の活動支援を行う。	・食生活改善推進委員会育成支援 令和6年度1人入会 勉強会 延4回実施 食生活改善推進委員(会員43人) 延74人参加 勉強会のテーマを元に地区担当保健師・栄養士とともに、地区の健康増進普及講習会を実施 8回開催 181人参加 ・運動普及推進委員会育成支援 連絡会に出席し、活動支援を実施 12回 延べ288人参加	・引き続き、食生活改善推進委員会育成支援として、会員の資質向上が図れるよう、年4回の勉強会を実施する。 食推養成講座6回1コースを開催し、会員の増を図る。 ・運動普及推進委員の活動場所を拡げるとともに、実践力を身につけられるよう会員の資質向上と活動支援を行う。
10	地域ぐるみでフレイル予防事業 令和7年度主要事業	地域保健福祉担当	フレイル予防を行うことで健康寿命の延伸を図る。地域のお茶の間等でフレイル予防の普及啓発、活動支援を行い、住民主体で健康づくりが行えるように支援を行う。	・フレイル予防教室 : 3会場/2回コース 延べ146人 ・保健師等による健康教育 : 51回 延べ1,201人 ・住民サポーターへの研修 : 1回 18人参加 ・ラジオ体操カード100日達成者数 : 延べ210人	・地域のお茶の間等でフレイル予防の普及啓発を行う。 ・ラジオ体操等の運動普及の支援を行う。 ・運動普及のための住民サポーターへの研修を行う。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3ー① 地域における健康づくりの推進(つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
11	こんにちは赤ちゃん訪問事業	健康増進係	新生児・産婦に対し健康指導を行い、健康の保持増進及び育児支援を行う。	・訪問登録助産師による訪問を実施した人数 産婦実人数358人 延べ392人 ・未訪問 8件 (全て状況の確認が行われた)	・引き続き、全数対面による育児支援ができるよう取り組んでいく。
12	健康相談事業	地域保健福祉担当	健康問題について個別に相談を行い、日常生活や食事の指導を通して生活習慣病を予防するとともに自らの健康管理ができるよう支援を行う。	・定例日健康相談 :12回 実人数27人 延べ27人 ・骨粗しょう症予防相談会:8回 267人	・定例日健康相談は次年度も同様に実施していく。 ・骨粗しょう症予防相談会は、幅広い層の年代を受診につなげるため、がん検診、育児相談等の事業と併せて実施していく。
13	健康寿命延伸に向けた区役所事業	健康増進係	健康寿命延伸にむけ、地域の健康課題に基づき、区内のさまざまな機関と協働し、こどもを含めた幅広い世代を対象に、生活習慣病への関心を高め、健康自立ができるまちづくりを行う。	・健康ミニ教室: 8回実施 延べ167人 ・糖尿病予防相談会 : 3回(2回1コース1回、単発1回) 延べ86人 ・親子向けの生活習慣病予防への取り組み: 小学6年生を対象にジュニアドック(受診90人/予約100人)、からだづくり講座(親子20組54人)を実施した。 ・健康部会: 健康レストラン登録店は薬科大学学生によるSNSを活用した周知を行った。登録数は、14店舗増え合計60店舗となっている。ひと・まち・みらいフォーラムを1回開催し69人が参加した。	・健康ミニ教室は継続する。 ・糖尿病予防相談会とジュニアドックは、区の健康データから見直して終了とする。今後は、あらゆる世代へ、得られた健康課題の周知や生活習慣病予防について普及啓発するとともに、どの世代も運動に取り組めるよう、地域のイベントで健康ブースを開設する。 ・からだづくり講座は継続する。 ・健康部会は、引き続き、健康レストラン登録店の募集と大学生によるSNSの活用に取り組む。ひと・まち・みらいフォーラムを開催する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3ー② すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	認知症 サポーター 養成講座	介護高 齢担 当	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。	・認知症サポーター養成講座の開催 開催数:35回 地域住民23回、小・中学校8回、職域(企業など)4回 参加者(サポーター)数:886名	・引き続き講座を開催し、認知症サポーターを養成していく。また、区職員を対象とした講座を開催し、職員の意識啓発を図っていく。 ・認知症サポーターを対象に、ステップアップ講座を開催する。
2	障がい者との 交流の促進	福祉が 係	障がい福祉施設や地域の団体(コミュニティ協議会、自治会等)との交流を積極的に働きかけ、障がい者への社会参加・理解を広める。	・どんちゃんまつり 開催日:9月14日(土) ・癒しの福祉ゾーンまつり 新津B&G海洋センター工事のため中止	多くの地域住民も参加して交流するイベントとして地元に着している。 ・どんちゃんまつり:9月13日開催予定 ・癒しの福祉ゾーンまつり:新津B&G海洋センター工事のため中止
3	あきは サポートネット 令和7年度 主要事業	高齢 介護 担 当	認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、区民や団体、教育機関等とネットワークづくりを行い、区民協働による「認知症高齢者等と支える家族にやさしい秋葉区」を目指す。	・秋葉区認知症講演会 テーマ「認知症やその家族を支える地域づくりを考える」 令和7年3月14日開催、参加者は21人。 ・認知症カフェ 年4回開催(6月、9月、11月、3月)、参加者は21人。	・キャラバンメイトのスキルアップを図るほか、区民向けの認知症講演会や認知症サポーターステップアップ講座を開催し、地域における認知症高齢者等の見守りについて意識啓発を図る。 ・秋葉区キャラバンメイト連絡会による認知症カフェの開催支援を行う。 ※キャラバンメイト・・・主にケアマネジャー等、認知症に関する所定の研修を修了したボランティア
4	障がい者 チャレンジ支援 事業	福祉が 係	福祉施設に通所する障がい者に事務作業訓練の場を提供し、就労に向けた能力向上と生きがいのある生活を支援する。	・実習受入れ先:13ヶ所(区役所含む) (秋葉区役所、割烹一楽、森林農園、うららこすど 他) ・実習状況:実施日数43日 参加延べ人数125人	・区役所や民間事業所で実習を行い、就労に対する意識を高め、自信につなげる。 ・受入れ事業所等の障がい者雇用に対する理解を深める。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021―2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

3-② すべての人が互いに尊重しあえる地域を実現するための啓発と普及 (つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
5	「つながる」 「広げる」 障がい者 支援事業 令和7年度 主要事業	障 が い 福 祉 係	障がい児に関わる医療・保健・福祉・ 教育・労働などの各機関が保護者とともに 必要な情報を共有するシステムづくり を行う。 また、発達に支援の必要な児童の保 護者に対する講座を行うことで、悩みや 心配ごとを共有できる仲間づくりを推進 し、不安感や孤立感の解消を図る。 市民を対象に、障がい者への理解を 深め地域で支える仕組みづくりを考える 講座を開催し、支援者等の輪を広げる。	・つながる支援ファイル 利用者(配付)数 47人(延べ339人) ・ノーバディズ・パーフェクトプログラム講座(保護者支援講座) 開催日:10月2日～11月6日(全6回) 参加延べ人数:14人 ・障がい者理解講座「発達に障がいのある子を持つ親世代の老後を考える」 開催日:3月1日(土)実施 講師:株式会社あしたの森 林 正海 氏 参加者:48人	・新規サービス利用の相談時等に「つながる支援ファイ ル」を配付すると共に、学校等支援関係者で情報交換 を行う「つながる支援セミナー」の場でファイルを紹介 し、利用につなげる。 ・療育教室等に通う2～3歳児の保護者を対象に支援講 座を開催する。 ・障がいへの理解が進むよう講座を開催する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4 相談しやすい体制づくり

4ー① 地域福祉のネットワークの構築

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	ふれあい福祉サービス事業	社協	秋葉区在住のひとり暮らし高齢者等(利用会員)の依頼により、ボランティアとして登録する協力会員が自宅に訪問し、見守りや話し手を兼ねた軽微な生活支援を行う。	・協力会員 46名 ・利用会員 72名 ・サービス提供回数 1,838回 ・活動時間 1,288時間、関係機関等との連絡調整 ・ふれあい福祉サービス交流会及び研修会の開催 日時:令和6年11月27日(水)10:00～11:30 参加者:12名	・利用者ニーズに対応できるよう協力会員の確保に取り組む。特に協力会員が不足している状況の為、会員募集に取り組む。 ・利用者ニーズに対応できるよう、サービス内容やしくみの検討、協力会員の確保と住民参加型在宅福祉サービスに対する理解を深めていく。
2	成年後見人制度の周知	介護高担担当	認知症や障がいなど判断に支援を要する方々に、それぞれのレベルに合わせて後見人、保佐人、補助人を家庭裁判所が選任し、必要な支援を行う制度について、周知啓発を図る。	・パンフレット等による周知啓発 ・成年後見制度利用支援助成金 37件交付 ・成年後見審判 市長申立 6件	・制度利用を必要とする人への周知を図るため、地域包括支援センターと協力し、地域の啓発活動を進める。 ・成年後見センターとも連携していく。
3	日常生活自立支援事業	社協	判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者の福祉サービスの利用援助や金銭管理等を支援する。	・利用者数 秋葉区 15人 ・生活支援員 秋葉区 9人 ・支援回数 秋葉区 206回 ・相談件数 秋葉区 89回	・福祉関係者等に対して、本事業の周知を継続する。 ・本人の自立を大切にしながら、生活支援員、専門員、関係者等との連携を密に行い支援する。
4	自立支援協議会	障がい福祉係	障がいのある人もない人も安心して暮らせる共生社会を実現することを目的として、関係機関が連携・一体となって障がいのある方を支援するために協議を行う。	・市役所障がい福祉課開催 全体会議 2回 運営事務局会議 4回 ・秋葉区障がい者地域自立支援協議会 4回 ・課題別ワーキング検討会 2課題 各3～4回 ・相談連絡会 計10回(うち4回は高齢福祉・障がい福祉連携チーム会議) ・障がい児「つながる」支援セミナー 開催日:8月1日 参加者:53人(区内小・中学校、特別支援学校、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、相談支援事業所 など)	・市役所障がい福祉課開催 全体会議、運営事務局会議 ・秋葉区障がい者地域自立支援協議会 ・課題別ワーキング検討会 2課題 ・相談連絡会 ・障がい児「つながる」支援セミナー
5	保健福祉相談・訪問指導事業	福祉地域担当保健	精神障がい、知的障がい、身体障がい、児童虐待、高齢者虐待、結核、難病、生活習慣病など、妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉に関する相談に対して、関係機関と連携し、迅速に対応を行う。	・妊婦・乳幼児から高齢者までの保健・福祉の相談に対して、保健師が関係機関と連携し迅速に対応。 相談件数 延べ 1,797人 訪問件数 延べ 803人	・引き続き、関係機関と連携し、迅速に相談対応していく。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4ー① 地域福祉のネットワークの構築 (つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
6	ドメスティック・バイオレンス(DV)相談窓口	保護係	ドメスティック・バイオレンス(DV)について相談しやすい環境づくりに努める。	・女性相談 <女性相談員1名配置> 相談件数(実件数) 50件 相談件数(延件数) 162件 内訳:夫婦間暴力・離婚111件、親族間暴力41件、 経済的・精神的な問題等10件	・主訴はDVや離婚に関する事であるが、貧困、虐待、医療など複合的に、問題を抱えた相談者が多いことから、FMIにいつ等を活用し、相談窓口や制度の周知を行っていく。 ・配偶者暴力支援センター等と連携し、支援を行っていく。
7	生活困窮者相談支援	保護係	経済的に困窮している方について、相談しやすい環境づくりに努め、就労に向けた支援や住居確保のための支援など、相談者の状況に応じた支援を行う。	・生活困窮者自立支援相談 <生活支援相談員1名配置> 新規相談件数(実件数) 13件	・就労、住居確保、家計改善、食糧支援などを行い、自立に繋げていく。 ・FMIにいつ等を活用し、相談窓口や制度の周知を行っていく。 ・次年度もパーソナルサポートセンター等と連携し、就労支援や住居確保給付金を含めた支援を行っていく。
8	生活困窮者緊急支援事業	社協	緊急的に支援が必要な生活困窮世帯に対し、食糧物資等の援助及び相談支援、生活支援を行う。	・生活困窮者からの相談により聞き取りを行い、パーソナルサポートセンター等関係機関と連携して支援を行っている。 申請件数 3件	・パーソナルサポートセンター等関係諸機関と連携して相談支援や食糧支援などを実施する。

4ー② 適切な情報提供体制づくり

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
1	点字広報等発行事業	福祉係	令和6年度で事業を廃止(令和7年度は代替手段を案内)	・カレンダーの発行(12月末) ・JR時刻表の発行(3月末) 点字 利用者:8人	問い合わせ等があれば、他団体によるサービスを案内する。
2	心配ごと相談所の周知	社協	相談所を週2回開設し、市民の悩みを受け止め関係機関につなぐ。	・相談件数:227件 ・周知:区役所だより(月2回)、区社協だより、区社協ホームページ掲載 ・相談員研修会:令和6年12月2日(月)ノ講師 総合リハビリテーションセンター・みどり病院 認知症患者医療センター 副センター長 川井 紀子 氏	・相談内容に応じて、関係機関へつなぎ、連携した支援を行う。 ・区社協だよりや区役所だよりへ掲載、周知・広報活動を実施する。 ・相談者に寄り添った相談対応を継続する。

令和7年度 秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021ー2026)における区および区社協の取り組み状況

資料1

4ー② 適切な情報提供体制づくり (つづき)

	事業名	担当	事業概要(令和7年度)	令和6年度実施状況	令和7年度実施内容
3	障がい者 基幹相談支援 センター秋葉 の運営	障 が い 福 祉 係	一般の相談支援に加え、施設からの地域移行促進に係るコーディネート業務や、権利擁護・虐待防止にかかる啓発、研修、相談支援事業所への研修を通じた人材育成や助言指導なども行う。 また、障がい等を理由とした差別に関する相談対応、障がい者が安心して地域で暮らせる体制を整える。	・「障がい者基幹相談支援センター秋葉」 相談員5名(担当エリア:秋葉区、江南区、南区) 相談件数 5,825件 (訪問408件、来所279件、電話4,548件、その他590件) ・個別支援(ケース)会議 138回 ・会議、研修会への参加 402回	・障がいのある人もない人も安心して地域で暮らせるように、総合的な相談窓口として更に周知を行う。
4	社協の相談窓 口体制整備	社 協	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、個別課題等に対する検討・解決を図り、関係機関と連携をしながら積極的にアウトリーチを進める。 ひとり親世帯への食料支援を実施する。また、昨年度ひとり親世帯の福祉に関するアンケート調査を行った結果をもとに、地域の関係団体等と連携し、地域づくりを行う。	・ひとり親世帯への食料支援(配布数281世帯) ・ひきこもり家族支援: (1)ひきこもり家族の懇談会 ファシリテーター:長岡崇徳大学客員教授、秋葉区健康福祉課保健師、秋葉区社協 実施:3回(6/22、10/24、2/15) (2)ひきこもりに関する講座 日時:10月24日(木)13:30～ 講師:長岡崇徳大学 客員教授 斎藤 まさ子氏 内容:「ひきこもりの理解と支援」 (3)ひきこもり支援連絡会 日時:令和7年3月11日(火)14:00～ ・地区担当との協働により、個別課題等に対応。 ・地域アセスメント ・CSW定例会(本部開催への参加、活動報告及び事例検討随時) ・各種会議等への参加	・秋葉区役所児童福祉係の協力によりひとり親世帯へ食料支援を実施し、困りごとを抱える世帯への支援に繋げていく。 ・関係機関と連携し、自治会・町内会・民生委員等の協力をいただきながら、課題を抱える方への個別支援および地域支援を進める。 ・地域住民・関係機関との連携を密に、取り組みを進める。